














■令和6年度那須塩原市企業版ふるさと納税に係る受入対象事業一覧

No.	事業名	課名	新既種別	事業期間の終期 (見込)	事業の概要	R6年度事業費	事業に関連するSDGsの目標
1	那須塩原駅周辺まちづくり推進事業	那須塩原駅周辺整備室	R6年度新規事業	令和7年3月31日	東京圏から好アクセスの観光地として知られる那須エリア。その玄関口である那須塩原駅周辺エリアは、JR東北新幹線の開通から40年以上が経過するも、周辺の土地の有効活用が進んでおらず、賑わいに乏しい現状があります。 この事業を通して那須塩原駅周辺の個性と独自性を前面に押し出した魅力的な空間づくりに官民連携で取り組み、那須エリアを訪れる人々に「行きたい・遊びたい・暮らしたい」と感じていただけるまちづくりを行っていきます。 【R6年度事業内容】 公共空間活用可能性の実証を兼ねた賑わい創出イベントの実施 民間事業者と連携した地域ブランド力向上のための方策の企画等	24,905千円	 
2	特定外来生物防除対策事業	ネイチャーポジティブ課	既存事業	令和7年3月31日	本市は、「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」を掲げ、「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」と併せ、生物多様性の損失を回復に向かわせる「ネイチャーポジティブ」の実現を目指しています。 そのような中、令和5年9月に特定外来生物「ツヤハダゴマダラカミキリ」の侵入が県内で初めて確認され、既に街路樹や学校等の樹木で多数の被害が確認されています。ツヤハダゴマダラカミキリ、クビアカツヤカミキリ、サビイロクワカミキリ等をはじめとする侵略的外来種は、人間の生活や文化、農林水産業にも悪影響を及ぼすものであり、生物多様性を保全する上で大きな問題となっています。 いただいた寄附は、特定外来生物の早期発見及び駆除、被害樹木の伐採といった防除対策に使わせていただき、特定外来生物の根絶を目指すとともに生態系の維持・保全に取り組んでまいります。	1,330千円	 
3	気候変動対策事業	カーボンニュートラル課	R6年度新規事業	令和7年3月31日	気候変動への対策は、その原因となる温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制する「緩和」と、緩和を最大限実施して避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていく「適応」の考え方があります。 那須塩原市では、「ここに住んでいれば生き延びられる」持続可能なまちの構築を目指し、緩和の取組と適応の取組を積極的かつ一体的に進めています。	●【緩和策】(仮) 地域エネルギービジョン検討事業 16,209千円 ●【適応策】 適応策ワークショップ 3,950千円	  
4	乃木緑地トイレバリアフリー化事業	都市建設課	R6年度新規事業	令和7年3月31日	乃木緑地は、日本遺産に認定された構成施設の1つである「乃木希典那須野旧宅」を含む市文化財に指定されている乃木公園へ続く参道に隣接して整備された。 乃木公園へ続く参道は、ソメイヨシノの桜並木となっており、市を代表する桜の名所として、多くの観光客や地域住民の散策路になっており、今回の乃木緑地は、休憩スポットとして、多くの方に利用されている。 一方で、乃木緑地は、整備後36年が経過し、施設の老朽化が目立つようになってきている上、トイレは、狭く洋式化がされておらず、利用者にとって不便を与えています。 今回の計画は、バリアフリーの視点を盛り込んだトイレを整備することで、観光客や地域住民など、あらゆる人が気兼ねなく利用できる施設にすることで、地域の魅力向上へつなげるため、いただいた寄付はトイレ新築工事の実施設計に要する費用に使わせていただきます。	3,000千円	   
5	道路維持管理事業(砂利道改修工事、カーブミラー設置工事)	保安全管理課	既存事業	令和7年3月31日	那須塩原市内には約1285kmの市管理道路があり、直営による作業や道路愛護作業等を行い、日頃から官民協同で道路維持作業に努めています。 しかしながら、市内には舗装化されていない砂利道が約132kmも存在しており、自転車での通行や足の不自由な方の通行に支障が出ている状況もあります。また、交差点における十分な視距が確保されていない場所も多く存在しており、交通事故に発展するような状況の報告も市民から受けております。 頂いた寄付金では、砂利道を舗装化し道路を利用する方の利便性向上を図ること、またカーブミラーを適切に配置することで事故が起こらない安全な道路環境を整備することが可能となります。	●砂利道改修工事 1,025千円 ●カーブミラー設置工事 1,200千円	 
6	奨学金貸与事業	教育総務課	既存事業	令和7年3月31日	那須塩原市では、学ぶ意欲と明確な目標意識がありながら、経済的な理由により学ぶことを断念せざるを得ない子ども達に対し、教育の機会均等を図り、将来に夢と希望を持ち、広く未来に向かい羽ばたくことを全力でサポートするため、奨学金の貸与事業を行っております。 貸与事業への応募状況ですが、令和2年度は15件であったのに対し、令和3年度は21件、令和4年度は23件、令和5年度は21件と経済的な支援を求める子ども達の応募は毎年20件を超える状況であり、経済的な理由から学びを諦めることがないよう、当該事業は今後も継続する必要があると考えます。 しかしながら、当該事業の原資となる奨学金貸与基金において、将来的な資金不足により、貸与事業を継続するためには、現行では貸与上限を15名とせざるを得ず、すべての子ども達に支援を行うことができない状態です。 1人でも多くの子ども達を救うためにも、今年度、次のとおり寄付金をいただければ、上限16名で継続貸与することが可能となります。 【寄附金目標値】 ◆貸与上限を1名増の16名とする場合 240万円以上 ※算出根拠 4年生大学 学生1名分総額貸与額5万円/月×48カ月(4年間)	最大貸与額 1人当たり600千円/年 ※基金運営のため、予算額ではありません。	